

Sakurabito

さくらびと

佐野日本大学高等学校 同窓会 桜友会報

桜友会が発行する「さくらびと」は同窓生をつなぐ、
コミュニケーション誌です。

[Sakurabito Special Interview]

元プロ野球選手

麦倉 洋一

元Jリーガー

小林 成光

START

— 始まりの場所 —

創刊号

2012
Vol.01

| 母校探訪 親子二世代編 | 仕事×情熱 Sakurabito WORK STYLE

| Next Challenge | 先生×生徒

| 桜友会 Message & 活動報告 | School Info | Sakurabito SHOP

| SANICHI NOSTALGIC PHOTOCLUB | Information & 編集後記

ここから始まる新しい同窓会報の「スタート」

START

— 始まりの場所 —

どうやって自分を
表現して認めてもらうかを
考えて過ごしていた。

三年間、現実といつも
戦って努力した。

祝
2012 ジュニアパンパシフィック水泳選手権(ハワイ開催)
200m背泳ぎ7位入賞 斎藤 ゆり子 さん(4年4組)

[Sakurabito Special Interview]

[31期生] 平成8年度卒

[24期生] 平成元年度卒

小林 成光 × 麦倉 洋一

元Jリーガー 元 FC東京 (J1、J2) → サガン鳥栖 (J2) → 栃木SC (JFL)

元プロ野球選手 元 阪神タイガース

プロという夢を目指しこの場所で練習に励んでいた二人。久しぶりに訪れた母校で話を聞いた。

ひざしぶりの母校は当時と比べていかがですか？

麦倉さん：当時は校舎も少なかったし、ほんとに昔とは随分かわりましたよね。今はプールまでありますからね。

小林さん：ぼくらが卒業してから、サッカー部のグラウンドがあった所にその温水プールができたんですね。

入学のきっかけはどのようなことですか？

麦倉さん：栃木県で開催されていた、関東大会に出場している佐野日大を市営球場へ観にいったときにこんなチームもあるんだと思った。甲子園にはまだ出場していないけど強くなっていると思いました。

小林さん：家が近かったからかな。小さいころからグラウンドに来て野球部や、サッカー部の練習を見ていた事ですかね。

当時の思い出についてお聞かせください。

麦倉さん：二番の思い出は風が強かったこと。練習もキツかったけど、グラウンドに吹き込む風が本当に強くて寒かった。寒い中で練習に励んだことが忘れられないね。もちろん佐野日大にきて甲子園に出場できたこともよい思い出です。

小林さん：当時、県内で自分たちが強いと感じ、甲子園に出場できると思っていましたか？

麦倉さん：狙えるなと思っていたけど、秋・春と優勝していた強豪チームがあった。そこが敗退した時に本当に行けると思った。それから当時、サッカー部とは違って野球部は人気がなくってね。坊主だったし。けれど甲子園に出場してからちよつと人気がでたことも思い出のひとつだね。

小林さんの思い出は？

小林さん：小・中学の時はチーム事情で同級生と一緒にプレーすることが少なかったから、高校に入って同級生たちと一緒に練習して、試合ができたことが楽しかった。一番の思い出ですね。それと余談ですが、まんぶく食堂の唐揚げ弁当も美味しい思い出ですね。どこの唐揚げよりも美味しいと思う。

共に全国大会へ出場し、プロ選手という道へ進んだ二人。在学三年間にその「夢」へ向かいどう歩み、挑戦を続けたのか。

出来ない事を、
求めるよりも、
まず自分の
できることから
始める。



その環境の中で
自分を表現し、
努力しステップ
アップしていく。



対談中の会話に出てきた「唐揚げ弁当」。当時とかわらない姿とその味は、この母校で楽しんだ思い出の味のひとつ。

現在、野球用品を取り扱うスポーツメーカーに勤務する麦倉さん。これから羽ばたく球児たちに道具の大切さも伝える。

当時は夢・目標にどう向き合っていましたか？

麦倉さん：中学生の頃はプロ野球選手になるという夢を持っていたけど、高校へ入ってみると三年生との体格、体力の差に戸惑い、夢よりも現実をみるようになりました。それでも二年生までは練習をしつかりしていけば大丈夫だろうと思ってましたね。三年生になったらそれまで以上に今の実力では厳しいと感じました。秋季関東大会に出場してコールド負け。今のままではダメだと思つて、本当にキツかったけど、あきらめずに一日一日を頑張った。同じチームにライバルもいたから頑張れたと思う。三年間、現実といつも戦つて努力したからプロ野球選手になれたのだと思う。

小林さんはいかがですか？

小林さん：小さい頃の夢はプロサッカー選手だったけどリアルな夢ではなかった。高校入学後は試合に出たいからどうやって自分を表現して周囲に認めてもらうかを考えて過ごしていたかな。とにかく今日の練習を頑張ることだけだった。当時、監督に関東の選抜だったり、U-18だったりとチャンスを与えてもらい、実力よりも上のレベルの選手たちと練習できたから、次の新しいチャレンジができたと思う。学校のチームとは別の環境で競い合うことができたから、努力してステップアップできたと思います。

母校・後輩へのメッセージをお願いします。

麦倉さん：いいグラウンドも完成して、他の学校の選手よりもいい環境で練習ができるのだから、もちろん甲子園に出場してほしい。でもまずは、自分が「今」でできることをやる。そこから努力してほしい。ここで練習、試合をやつた三年間は大切な時間。後悔しないように頑張つてほしい。

小林さん：まず「自分で考える」ということを実践してほしい。サッカーは状況に応じた判断が常に必要だから、部活に限らず自分で考えて学校生活を通してほしい。いろいろなものを吸収し、人間的な魅力を磨くことも大切だと思います。

プロへのステップは現実と共に歩むものなのかもしれない。自分の実力を知り、そこから努力し「夢」を叶えた二人。共通する言葉は「今、その瞬間に全力を尽くす」ということ。

同窓会誌「Sakurabito」の創刊で組まれた二人の対談。高校の時にぶつかった現実という壁を乗り越え進んだ経験は、すべての「さくらびと」への輝かしいメッセージとなる。

麦倉さんの高校時代

- 16歳 選手権栃木大会ベンチ入り
- 17歳 春季関東大会出場
- 18歳 選手権栃木大会(背番号1)
- 秋季関東大会出場
- 選手権栃木大会優勝
- 第71回全国高等学校野球選手権大会出場(甲子園初出場)
- 1回戦 近大福山に完勝勝利
- 2回戦 福井商業に敗退
- 阪神タイガースドラフト3位指名



Profile むぎくら よういち
1971年生まれ。投手として1989年ドラフト3位で阪神タイガースへ入団。1994年に現役引退、現在はスポーツ用品商社のデサントに勤務。

小林さんの高校時代

- 16歳 栃木県国体メンバーに選出
- 17歳 関東選抜に選出
- 18歳 東西対抗戦に出場
- 栃木県国体メンバーに選出
- 関東選抜に選出
- 東西対抗戦に出場
- 宮城国体ベスト16
- 山梨国体メンバーに選出
- 山梨インターハイ出場
- 広島国体ベスト8
- 第75回全国高校サッカー選手権大会出場



Profile こばやし まさみつ
1978年生まれ。1997年に東京ガスFC(現FC東京)に入団。サガン鳥栖・栃木SCと移籍し、2008年に引退。現在はFC東京育成部コーチ。

母校探訪

[親子二世代編]

母

たくさんの思い出を残してほしい。

娘

バレー部で楽しく頑張ってます。

娘

関根 あすか
普通科 1年

母

関根 美穂
21期生 昭和61年度卒



母校に久しぶりに訪れたお母さん。在学中の娘さんと一緒に当時のお話や今の学校生活についてお聞きしました。

「久しぶりに訪れた母校はいかがですか？」

母 在学当時の校舎や周辺の環境、私たちのころには無かったプールまであって、ほんとに新しく大きくなっている学校にとってもびっくりしています。それでも重たいカバンを持って登下校したことや、購買で売っていたパンのことなど当時のことが甦ってきて本当に懐かしく感じました。

「学校生活はどうですか？」

娘 今、バレーボール部でレギュラーを目指して練習に励んでいます。厳しい中でも楽しく練習することで、毎日が充実しています。

母 普段の会話はバレーボールについてがほとんど。だから一生懸命に取り組める環境を家族でつくることを心がけています。帰りが遅くても部活が楽しくてしかたがないことが伝わってくるんです。

娘 いつか親と一緒にソフトバレーをしたいと思っています。また保育士という夢に向かってこれからも頑張りたいです。

母 「母校で頑張る娘さんへメッセージをお願いします。」
「楽しかったなあ」という思い出をたくさん残せるように、今という時間を大切に過ごしてほしいです。」



文化祭の日に久しぶりに登校してくれた卒業生のお母さん。実はお父さんも本校の卒業生とのこと。「バレーボール部の人間教育によって娘の三年後の成長がとても楽しみ」とお父さんは語ってくれました。

会話の中で登場した「購買パン」は現在も変わらない味と姿。

(株)ナカダパン
本店 TEL.0283-22-0828
栃木県佐野市万町2785
浅沼店 TEL.0283-22-1474
栃木県佐野市浅沼町41

名物板あんぱん(5個入)が大人気のナカダパンは全国発送も承っております!!(12,000円以上お買い上げで送料無料)



「繋がり」から生まれた 発見は芸術を成長させてくれる。

石川 茂 先生
芸術科主任
いしかわ しげる

現代美術家として各賞を受賞し活躍する、芸術科主任の石川先生。
人生の羅針盤となる絵を描き続けてきたことで生まれた芸術的「繋がり」、そして教師として日々生徒と真摯に接する事で生まれる教育への「繋がり」。それらの「繋がり」に刺激を受け、新たな発見を生み出すことが自身の芸術性を高められると語る。
その手で描かれたアートな「繋がり」は、これからも多くの人々と生徒たちの心に語りかけ、エネルギーに満ちた絵と一緒に広がっていく。



Golden earth ペリカン島のペリカン君<第82回春陽展入選作品>
(中等教育学校 昇降口 玄関に展示中)

1965年生まれ、栃木県立足利高等学校卒、日本大学芸術学部美術学科卒。芸術科主任として教壇に立ち、豊富な知識と経験を生徒たちに伝えている。二科展デザイン部特選賞・栃木県芸術祭美術展芸術祭賞・春陽展奨励賞。春陽会会員・日本美術家連盟会員。



先生
student
先生

先生と生徒

仕事 × 情熱

赤城グループ 代表取締役社長



20期生 昭和60年度卒

小倉 基宏

Motohiro Ogura

1967年生まれ。明治大学政治経済学部卒。

現在、自動車教習所事業部門と学園部門である専門学校を経営する、赤城グループの代表取締役として日々業務に情熱をそそぐ「さくらびと」。

礼儀、挨拶、人に対して
尊敬の念を持つ「さくらびと」

母校での一番の思い出は「早弁」して先生に厳しく指導されたことと、優しい表情で当時を語る小倉さん。人を引きつける魅力は揺るぎない信念と、自ら切り開くチャレンジ精神によるものだ。

大学卒業後、五年間の商社勤めから29歳で現会長の経営する赤城グループへ。異なる業種で培った考えや意見は、その当時なかなか受け入れてもらえず、噛み合わない歯車に悩む日々が続いたという。それでも10年、15年後を視野にいった自身の信念は年月を重ね理解され大きく前進した。そして現在、赤城グループの代表取締役社長として多忙な日々を送っている。

「人の目を見て挨拶ができること、時間を守ること、コミュニケーションがとれることを社員に求めている。」と語るその言葉の先には、経営する教習所と専門学校に共通する「人間教育」の理念が込められている。これからの夢については言葉を選びながら「従業員とその家族のことまで考えながら、視野を広げ、海外への進出もチャレンジしたい」と深い眼で答えてくれた。

礼儀、挨拶、人に対して尊敬の念を持つ「さくらびと」の母校で培った「日大魂」は目覚めたばかりだ。



「先生たちは怖かったけど、今思うと良かったです。温かかったよね。」と改めて当時を語ってくれた。

東京工業大学 工学部
43期生 平成20年度卒

田島 大輔

Daisuke
Tajima

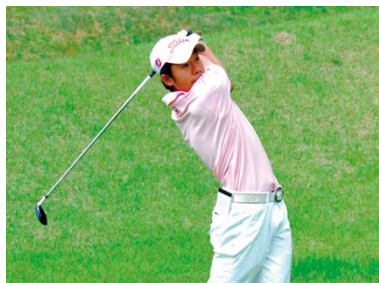
Next Challenge

人の為になる
新しいモノへのチャレンジ。

SSHクラスで学べたことが一番の思い出と語る田島大輔さん。幼いころより科学が好きでこのクラスへの入学を決めた。三年生として臨んだ研究発表会では「加速度運動の視覚認識装置の開発と研究」を発表し、『文部科学大臣奨励賞』を受賞するという快挙をなしたとげた。当時はたくさん先生方に支えてもらい、様々なことを学ぶことができました。

現在は東京工業大学で研究に没頭する日々を送る田島さんは「人の感想を聞き、それをフィードバックすることがより良いものへつながっていくことが分かり、新しい模索・研究を続けていきます」と話す。

大学卒業後、大学院への進学を希望している若き「さくらびと」は思いやりのある未来の研究者として、これから大きく羽ばたこうとしている。



1994年生まれ。日光市立大沢中学校卒。4期連続で全国高等学校ゴルフ選手権へ出場し、さまざまな大会で好成績をおさめる。進学してからも注目し続けたい「さくらびと」。

ツアーで活躍できる選手を目指し、
緊張感の中で戦いたい。

幼少よりゴルフを始め、一年次より輝かしい戦績を残し現在も注目を集める北山君。今年日本アマに出場し、あの緊張感にもう一度チャレンジしたいと眼を輝かせるキャプテンは、この三年間で培い経験した中で生まれた、新しい目標に向かって既に歩き始めている。ツアーで活躍できる選手、優勝争いのできるプロになりたいと熱く語る。

ゴルフ部25年連続全国大会出場の伝統を受け継ぎ、団体・個人と活躍した彼の目指す夢は、「佐日魂」とともに羽ばたこうとしている。

北山 健太郎
きたやま けんたろう

普通科3年

生徒
teacher
生徒

活躍する

桜友会 活動報告



同窓会チャリティ ゴルフコンペが開催 されました。

平成24年5月1日に足利カントリークラブ、平成24年10月4日にはサンモリッツカントリークラブにて開催いたしました。年齢はさまざまですが両日とも和やかに

行われました。来年も同日に行われますので、同窓生の皆さんの参加をお待ちしています。

懐かしい母校に 改めて登校。 「母校を訪ねる会」

卒業して10年目・20年目・30年目となる卒業生を対象として、平成24年9月29日に開催されました。今回は16期生（昭和57年3月卒）・26期生（平成4年3月卒）・36期生（平成14年3月卒）の方々が対象となり、懐かしい学び舎で久しぶりに集まった仲間たちと先生方を囲んで楽しい時間を過ごしました。来年度以降の予定は次の通り。

平成25年 第17・27・37期 | 平成26年 第18・28・38期 | 平成27年 第19・29・39期

同窓会支部紹介

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 佐野支部 支部長 早川郁雄(7期) | 5. 古河支部 支部長 赤坂幸広(11期) |
| 2. 安蘇支部 支部長 吉原史典(7期) | 6. 学園支部 支部長 湯澤輝雄(1期) |
| 3. 館林支部 支部長 奈良与志則(4期) | 7. 宇都宮支部 支部長 平野一昭(10期) |
| 4. 埼玉支部 支部長 小林利之(6期) | 8. 桐生支部 支部長 川嶋伸行(8期) |

同窓会からの Message



同窓会総会の開催日が 変更になりました。

去る平成24年6月3日（日）に開催した総会にて、平成25年より総会の開催日と恒例行事「新春のつどい」を同日に開催することとなりました。同窓生の皆さまを繋ぐ会として今後より一層活性化していきたいと思っております。

同窓会会長 和田栄一

「新春のつどい」では同窓生だけではなく、校長先生をはじめ現職の先生方や退職された先生をお誘いして楽しい時間を共有していただき、さまざまな繋がりが生まれ、和気あいあいとした時間をお楽しみください。また、めでたく60歳を迎えた第5期生をお祝いする「第5回還暦を祝う会」も開催します。是非ご参加ください。

平成25年 1月19日(土) 同日開催

15:30 より

16:00 より

平成25年 同窓会総会

第17回 新春のつどい
第5回 還暦を祝う会

■ 場所：ホテルサンルート佐野 栃木県佐野市朝日町702-27

TEL.0283-24-5000

■ 会費：5,000円 [平成25年会費(3,000円)含む]

※平成25年同窓会総会のみ参加の方は会費3,000円

あの先生は今!?

齊藤 典江 先生
数学担当



今は、ゴルフで汗を流したり、フォトムービーを作ったり、元同僚の先生たちと女子会を楽しんでいます。

この学校で「数学」を教えてくれた齊藤典江先生。先生は40年間この学校の教壇に立ち、7期生から22期生までクラスを受け持った。そしてその後、学年主任・主事・副教頭として母校を支え、最後の八年間は非常勤講師として多くの生徒を見守り続けてきた。「難しい事よりも基本的な考え方を教えた。」と今も若々しい笑顔で語る。そして、退職最後の一週間前に東日本大震災が起これ、残りの授業ができず、生徒にお別れを言えなかったことが、唯の心残りとも語ってくれた。優しい語りはきっと教壇に立っていた頃と変わらないのだろう。この学校に来て最初に担任した生徒と最後に担任した生徒が今、この学校で教師として頑張っていることに、自分の意志を継いでもらったように、と目を細める。

そんな齊藤先生は退職された今、ゴルフで汗を流したり、パソコンで写真を組み合わせ音楽を入れてフォトムービー制作をしたりと日々を充実させている。母校への思いを「佐野日大で学ぶ親子二代が増えてきたから次は三代孫までの家族が出てきてほしい。」とエールを送ってくれた。

School Info

大学合格状況

現役合格率 **97.5%** 国公立大学 90名合格

東京大学3名、東北大学4名など

日本大学 283名合格、医歯薬獣医系大学・学部83名合格、
日本大学以外の難関私立大学等に301名合格

大学進学情報

平成23年度の大学合格状況のご報告です。東京大学3名、東北大学4名、大阪大学2名と国公立大学^(※)への合格人数が90名。現役合格率97.5%と全てのコースで高い現役合格率を出すことができました。

(※)国公立大学の合格数には、国が設置する大学校の合格者を含みます

■中等教育学校 募集要項

受験区分	入試日	合格発表日	募集人数
第1回推薦入試	単願		
総合学力入試	単願・併願	11月23日(祝)	11月27日(火)
第1回一般入試	単願・併願		80名
第2回一般入試	単願・併願	12月16日(日)	12月18日(火)
第2回英語入試	単願・併願		40名
第2回推薦入試	単願		若干名
第3回一般入試	単願・併願	1月6日(日)	1月8日(火)
第4回一般入試	単願	2月3日(日)	2月3日(日)
			15名
			5名

■高等学校 募集要項

受験区分	入試日	合格発表日	募集人数
推薦	指定校推薦	単願	
	選抜推薦	併願	
	併願推薦	併願	
一般	第1回一般入試	単願	1月6日(日)
		併願	1月11日(金)
	第2回一般入試	単願	1月6日(日)
		併願	1月11日(金)
	第3回一般入試	単願	1月20日(日)
		併願	1月23日(水)
		併願	2月3日(日)
		併願	2月6日(水)
			募集人数
			普通科 510名(男女)
			特別進学コースαクラス 30名
			特別進学コース 120名
			スーパー進学コース 160名
			進学コース 200名

Sakurabito SHOP | 01 和風レストラン はしもと

11:30~14:00、17:30~22:00 月曜定休

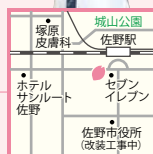


オーナー
橋本 好男
11期生 昭和51年度卒



オリジナル和風ラーメンは後味さっぱり、風味豊かなスープが絶妙に旨い。お昼はランチセットでお腹いっぱい。夜は旬の素材と美酒を美味しく楽しめる場所。

栃木県佐野市若松町74
TEL.0283-22-1335



Sakurabito SHOP | 02 和風れすとらん 桃川

11:00~15:00、17:00~23:00 月曜定休(平日の場合)

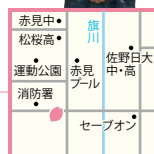


代表取締役
川俣 幸雄
10期生 昭和50年度卒



食事会・宴会・祝事・法事など四季折々の彩りを料理に添えてご提供。100名様までの大宴会場と合わせて大小7会場を完備。ランチ・定食メニューも多数。

栃木県佐野市石塚町979-1
TEL.0283-25-0072
<http://momokawa.jp>



Sakurabito SHOP | 03 くりた

日曜・祝日/10:00~19:00、平日・土曜日/10:00~20:00 木曜定休

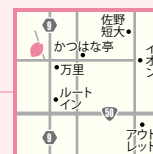


栗田 かつ江
(旧姓 石川)
17期生 昭和57年度卒



実家である卵屋さんから直接仕入れる新鮮卵を使用したお惣菜にお弁当。もちろんイモフライの衣付にも使用! 味もボリュームも◎、ここは街の美味しい惣菜店。

栃木県佐野市高萩町438-10
TEL.0283-22-2724



Sakurabito SHOP | 04 地中海料理 アンドラ

11:30~21:30 月曜定休



オーナー
広瀬 一雄
10期生 昭和50年度卒



エスコフィエ会員のオーナーシェフが提供する、旬の素材を存分に活かした丁寧な料理が楽しめる心温まる店。ご宴会・パーティーの予約も受付中。

栃木県佐野市茂呂山町4-4
TEL.0283-24-8233



卒業生が働く8店舗。
とってもお得な
サクラビトクーポン券付き!

掲載店舗は順不同です。

[佐野-飲食店編]

Sakurabito SHOP | 05 株式会社 サンフード

専務取締役
初山 大一郎
23期生 昭和63年度卒



専務取締役
初山 大一郎
23期生 昭和63年度卒



築地直送! 旬の新鮮魚介が盛り沢山! 店内の生け簀には鯛・あじ・伊勢海老など魚介がいっぱい。リーズナブル&うまいが自慢の「どんさん亭」をお楽しみ下さい。

[海鮮居酒屋どんさん亭]
足利南店、伊勢崎西店、鹿林店、小山店、相生店、片貝店

[海鮮どんさん亭]
新宿郷屋敷店、佐野店、高崎店、大泉店、高崎北店、栃木店、前橋店、鹿沼店、山川店

[ステーキ・ハンバーグどんさん亭] [居酒屋どん]

桐生店、伊勢崎店、足利店、新宿郷屋敷店 太田店、桐生本町店

[しゃぶしゃぶのどんさん亭] [焼肉・しゃぶしゃぶどんさん亭]
太田店、華蔵寺店、宇都宮店 新宿郷屋敷店

Sakurabito SHOP | 06 とん久

12:00~23:30 火曜定休

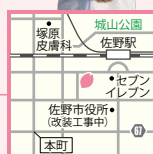


店主
小山 浩之
13期生 昭和53年度卒



創業43年の老舗とんかつ店「とん久」。少人数ならではの和食中心のご宴会から、お弁当のご予約も受付中。お刺身などのお魚料理も好評! 是非、ご堪能ください。

栃木県佐野市若松町112
TEL.0283-22-5965



Sakurabito SHOP | 07 めん一番

11:30~21:00 水曜定休



店主
小山 朝政
13期生 昭和53年度卒



おすすめ生姜ラーメンは佐野の屋台風にあっさり薄醤油味と生姜の風味がくせになる味。味噌味のネギミソラーメンとあっさり塩ラーメンも是非、お試しください。

栃木県佐野市浅沼町602-1
TEL.0283-24-8595



Sakurabito SHOP | 08 ホテルサンルート佐野 1F レストラン アルカディア

11:30~14:30、17:00~21:00 年中無休

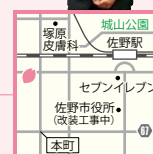


営業企画部 マネージャー
井上 良一
23期生 昭和63年度卒



ホテルサンルート佐野1階のレストランは気軽に入れてリーズナブルにランチが楽しめる。夜は家族で地元牛を使ったステーキ・ハンバーグのディナーはいかがですか。

栃木県佐野市朝日町702-27
TEL.0283-24-5000
<http://sr-sano.co.jp>



SANICHI NOSTALGIC PHOToclub

TEXT:Aya Saito
PHOTO:Shinji Kobayashi

君へ 「繋がる「想い」」

あの頃の僕らは子犬のように無邪気で
大空に羽ばたく鳥のように自由だった
守られた空間の中で

時を重ね

少しずつ「世界」を知り

新しい自分が生まれていく

生き残るために心を閉ざし

強くなったと思いつつ

あの頃の眩しい記憶は

壊れるのではなく

なくなるのではなく

頭の片隅に追いやられ

何気ない瞬間に想い出す

無邪気で自由だったあの時間こそ

僕たちの始まりで

これからの長い道のりを歩くための

心が還る場所

この空がどこまでも続いているように

きつと「想い」は繋がる

歩いた道は違っても

僕たちはきつとまた逢える

だから自分に誇れる生き方をしよう

笑顔で君に出逢えるように

Information

佐野日大高等学校同窓会からのお願い

創刊号「Sakurabito」を読んでいた卒業生の皆様へ。佐野日本大学高等学校同窓会では同封の振り込み用紙にて「同窓会年会費：3,000円」の納入を受け付けています。新しく歩みを「再開」したこの同窓会会報誌も皆様の会費によって発行させていただいております。卒業生の皆様にとって「再会」の場所となる同窓会に今後ともご協力をお願いいたします。

Sakurabitoでは卒業生の働く会社・店舗などの情報を募集しています！
自薦他薦を問わず随時募集中！ ■受付はコチラ→ sakurabito@tcr.sanonihon-u-h.ed.jp
※頂いた情報の掲載は検討のうえ掲載させていただきます。掲載されない情報もございますことを予めご了承ください。

注意 事項

本誌掲載の個人情報、同封の振り込み用紙へ記入していただいた個人情報は、当人の同意なく開示することはありません。また、私たち佐野日本大学高等学校及び同窓会ではその他の勧誘、ハガキの郵送は一切行っておりません。よって、出版社等を名乗る会社等から情報提供または代金振込のハガキが届いた場合は、破棄していただくようお願い致します。
※誤って情報を提供してしまった場合、転売などの二次被害の恐れもあります。くれぐれもご注意ください。



編集後記

創刊号「Sakurabito」はいかがでしたか？同窓生の絆を深めるために歩み始めたこの媒体。編集にあたり母校と同窓生の繋がりを再確認し、また新たに結びつくことでたくさんの学びと発見に出会う事ができました。桜の花で繋がる私たち「サクラビト」にとって、この紙面が母校と再会する1ページとなり、その輪が広がり新たな出会いを生み出してくれることでしょうか。

この度、発行にご協力いただいた方々に深く感謝申し上げます。

ページを開くと私たち同窓生の絆をつなぐ「Sakurabito」の旅がスタートする。私たち「サクラビト」の歩みは今、始まったばかりだ。

Sakurabitoとは「桜で繋がる、人と人。」母校「桜」と共に世代を超えた同窓生「人と人」が繋がり合う同窓会誌として新しく生まれました。桜の花びらと一緒に表現された繋がり合うタイトルロゴは「再会」を表現し、私たちが過ごした母校の「現在・過去・未来」が詰まったコミュニケーション誌です。